

議事録 【地域連携推進会議】

～長光園障害者支援センター～

日付：令和7年9月19日土曜日

時間：12時30分～14時

出席者

兵庫地区有識者	野口賢一郎	佐賀市消防団兵庫分団 6 部部員	原邦剛
社会福祉法人夢咲福祉会理事長	内田圭二	長光園親和会会長	栗原正則
長光園友和会会長	栗原よし子		
長光園 理事長 田口一樹	園長 宮崎一哉	事務長 千代島秀幸	
支援施設課課長 嘉村英哲	同主任 大徳飛鳥	総務課副課長 吉田忠文	

理事長挨拶

地域とのつながりの重要性、コロナ禍を経てその必要性が増している点について挨拶があった。

宮崎園長より

- ・長光園の状況、利用者の状況について「令和7年度事業報告書」に添って下記が説明された。
行事、出身地域、年齢区分、退園者数、在園期間、障害別状況、日常生活動作状況、月別行事、招待行事、地域交流/貢献実績
- ・2026年2月よりインカムを導入。・2026年3月に原因不明のひどい風邪が流行。
- ・2025年から新型コロナの影響で中断していた地元小学校交流が再開
- ・2026年3月末時点で定員50名に対し52名が在籍。平均年齢は61.4歳。
- ・設備整備：金子財団からの助成を受け、昨年度は車椅子仕様の軽自動車を、本年度は床走行式介護用リフトを1台購入した。

財務状況の報告

- ・「令和7年度法人単位資金収支計算書」を事務長より説明をされた。

BCPの取組について

- ・感染症BCP見直し（2026年4月）：
 - 平時の備え: 37.5度以上の発熱時は別室へ移動する対応を追加。
 - 初動対応: 体調不良を訴えられない利用者に対し、活動量や食事量の変化に注意を払うことを明記。
 - 情報共有: 感染疑い発生時、ショートステイ受け入れ中止を判断した際は速やかに家族へ連絡する手順を追加。面会制限・中止に関する連絡体制も明記。
 - 感染拡大防止策: 食事は使い捨て食器を使用し、電動歯ブラシは飛沫防止のため電源を入れずに使用するルールを追加。
- ・BCP関連訓練状況:
 - 災害BCP訓練（5月14日）: 職員のみで水害を想定した避難工程の検討や情報収集訓練を実施。
 - 感染症BCP訓練（6月1日・2日）: 感染防護服の着脱訓練、全職員対象の計画周知、区域分け（ゾーニング）設置訓練を実施。
 - 水害想定避難訓練（8月24日）: 利用者を含む全職員で2階への避難訓練を実施。完了まで約30分。
 - 止水板設置訓練: 今後は月1回の避難訓練時に職員が交代で実施する計画。

地域より

- ご意見① 子どもたちの参加拡大: 陶芸教室を再開したことで横のつながりが生まれ、地域の子供神輿の参加者が約 2 倍に増加した。多角的な連携: 下村区の夏祭り、兵庫地区の学校や保育園との連携が維持されている。
- ご意見② 地域とのつながりがあり、家族会としてもうれしい。定期的な外出企画や、佐賀アリーナ、ソフトバンク野球観戦など外出支援が行われ、入園者の活力につながっている。
- ご意見③ 外国の方が増え、日本人の少子化が顕著に表れている。外国人スタッフの受け入れにおいては、コミュニケーションと時間をかけた丁寧な育成が重視されている。日本人が少ない現状を受入慣れていかなければならない。
- ご意見④ 施設運営、地域交流など十分にできていると思う。今後も地域の為、利用者の為に続けて欲しい。
- ご意見⑤ 皆様にご協力をして頂き、行事などを楽しんでいきたい。。

その他

- 防災と地域の関係で、過去の水害対応や、緊急時における地域との助け合いの重要性が確認された。
土嚢の設置: 玄関前の自動ドア 2 箇所に対し、令和元年および令和 3 年 8 月に消防の協力で土嚢を積み、浸水対策を実施した。地域との助け合い: 過去の搜索事例などを通じて地域の協力態勢が築かれており、今後も人員不足時を含め相互支援を続けていく方針が確認された。

12 時 30 分より長光園の給食を皆様に食べて頂き、終了後、「地域連携推進会議」を開催し施設内見学も実施。

会議風景



施設内見学風景

